



## 平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年8月18日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社

(コード番号：1971 東証第2部)

(URL <http://www.chuo-build.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 西本 安秀

問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 齋藤 正幸

TEL：(03) 3661-9631

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 法人税や引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

### 2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

#### (1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	1,944	5.4	154	45.0	133	54.0	133	77.2
18年3月期第1四半期	1,845	△9.2	106	35.9	86	109.8	75	92.3
(参考) 18年3月期	8,385		540		444		363	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	6	45	—	—
18年3月期第1四半期	3	64	—	—
(参考) 18年3月期	17	61	—	—

(注) ① 当第1四半期の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

② 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

#### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における国内経済は、昨年度に引き続き企業収益が堅調に推移したことなどを受けて、設備投資にも持続的な増加傾向が見られ、個人消費も穏やかながらも増加傾向を示すなど、国内民間需要主導による景気回復基調が続いております。

しかしながら、原油価格の高騰や世界的な鋼材需要の増大を要因とする鋼材価格の値上がりなど、原材料価格の高止まりが続いており、景気の先行きに対し未だ懸念材料が残っている状況でもあり、依然として予断を許さない厳しい状況が続いております。

こうした経済情勢の中で、当社は「事業再構築計画」に基づき、早期に安定的経営基盤の確立を果すべく一層の収益基盤強化やコスト改善のための施策の推進に努めております。

当第1四半期におきましては、鋼材をはじめとする原材料価格の高騰などの厳しい環境もありますが、建設工事現場での安全重視指向の進展に伴い、当社の固有商品であるアルミスカイガードの販売を中心に堅調に推移し、売上高は19億4千4百万円となりました。

営業利益につきましては、機材部門のアルミスカイガードの売上好調による収益増に加え、鉄構部門でのコスト改善効果等の事由により、計画数値を上回る1億5千4百万円となりました。

この結果、当第1四半期の業績は、経常利益1億3千3百万円、四半期純利益1億3千3百万円となりました。

## (2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	6,676	983	14.7	47 70
18年3月期第1四半期	7,696	559	7.3	27 14
(参考) 18年3月期	7,037	850	12.1	41 25

## 【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	3	△2	△183	206
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	741	240	△922	389

(注) 当四半期よりキャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。

## [財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の総資産は66億7千6百万円となり、前期末比3億6千1百万円の減少となりました。

また、純資産につきましては9億8千3百万円となり、前期末比1億3千3百万円の増加となりました。

## 【参考】

平成19年3月期の業績予想 (平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

(1) 中間期業績予想の修正 (平成18年4月1日 ~ 平成18年9月30日)

(百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表時予想(A) (平成18年5月24日)	4,068	188	186
今回修正予想(B)	4,132	238	236
増減額(B-A)	64	50	50
増減率	1.6 %	26.6 %	26.9 %

## [業績予想に関する定性的情報等]

前回発表時(平成18年5月24日)の中間期業績予想を上方修正致しました。

修正の主な理由は、機材部門のアルミスカイガードの売上増による収益増に加え、鉄構部門でのコスト改善効果等による収益増があり、当初の計画を上回るものと予想されるためであります。

なお、平成19年3月期の通期業績予想につきましては、不透明な要因が多いことを考慮して、前回発表時(平成18年5月24日)の予想を変更していません。

(2) 通期業績予想 (平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	8,401	442	430

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 20円 78銭

(注) 上記の予想は、発表時現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表
2. (要約) 四半期損益計算書
3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

## 1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	292	209	82		425
2. 受取手形及び売掛金他	1,849	1,899	△50		1,997
3. たな卸資産	845	1,080	△235		829
4. その他	8	699	△691		10
流動資産合計	2,995	3,889	△894	△23.0	3,263
II 固定資産					
1. 有形固定資産	3,344	3,573	△228		3,441
2. 無形固定資産	4	2	1		4
3. 投資その他資産	332	230	102		329
固定資産合計	3,681	3,806	△125	△3.3	3,774
資産合計	6,676	7,696	△1,020	△13.3	7,037
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金他	1,501	1,710	△209		1,793
2. 短期借入金	1,599	1,761	△161		1,648
3. その他	286	860	△573		294
流動負債合計	3,387	4,332	△944	△21.8	3,737
II 固定負債					
1. 長期借入金	2,292	2,744	△452		2,427
2. 退職給付引当金	—	—	—		—
3. その他	13	59	△46		23
固定負債合計	2,305	2,804	△498	△17.8	2,450
負債合計	5,693	7,136	△1,443	△20.2	6,187
(資本の部)					
I 資本金	—	275	—		275
II 資本剰余金	—	526	—		526
III 利益剰余金					
当期末処分利益	—	△247	—		40
IV その他有価証券評価 差額金	—	11	—		15
V 自己株式	—	△5	—		△7
資本合計	—	559	—	—	850
負債・資本合計	—	7,696	—	—	7,037

科目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	275	—	—		—
2. 資本剰余金	526	—	—		—
3. 利益剰余金	173	—	—		—
4. 自己株式	△7	—	—		—
株主資本合計	967	—	—		—
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	15	—	—		—
評価・換算差額等合計	15	—	—		—
純資産合計	983	—	—	—	—
負債、純資産合計	6,676	—	—	—	—

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	1,944	1,845	99	5.4	8,385
II 売上原価	1,512	1,452	59	4.1	6,602
売上総利益	432	393	39	10.0	1,782
III 販売費及び一般管理費	277	286	△8	△3.1	1,242
営業利益	154	106	48	45.0	540
IV 営業外収益	3	25	△21	△85.9	79
V 営業外費用	25	45	△20	△44.4	174
経常利益	133	86	46	54.0	444
VI 特別利益	—	—	—	—	43
VII 特別損失	0	11	△11	△99.8	121
税金等調整前四半期純利益	133	75	58	77.2	366
税金費用	—	—	—	—	3
四半期(当期)純利益	133	75	58	77.2	363

3. (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	133	—	366
減価償却費	116	—	514
支払利息	22	—	97
売上債権の減少額	200	—	136
割引手形の減少額	△101	—	△63
棚卸資産の増加額	△33	—	△20
仕入債務の減少額	△292	—	△62
その他	△12	—	△128
小計	31	—	840
利息及び配当金の受取額	0	—	2
利息の支払額	△22	—	△95
雑収入の受取額	2	—	76
雑支出等の支払額	△2	—	△76
法人税等の支払額	△7	—	△5
営業活動によるキャッシュ・フロー	3	—	741
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△8	—	△175
有形固定資産の売却による収入	6	—	387
その他投資の取得による支出	△12	—	△5
その他投資の減少による収入	11	—	31
その他	△0	—	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	—	240
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の返済による支出	△48	—	△300
長期借入金の返済による支出	△134	—	△719
その他	△0	—	97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183	—	△922
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額（又は減少額）	△182	—	60
VI 現金及び現金同等物の期首残高	389	—	329
VII 現金及び現金同等物の期末残高	206	—	389

(注)当四半期よりキャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。